



政府統計

報道関係者 各位

令和7年12月17日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼

室長補佐 西原

(担当) 中高年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7594)

(直通電話) 03-3595-2323

第20回「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」 の結果を公表します

～2005(平成17)年から2024(令和6)年まで、同一の中高年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「中高年者縦断調査（中高年者の生活に関する継続調査）」の第20回（2024（令和6）年）の結果を取りまとめましたので公表します。

中高年者縦断調査は、2005（平成17）年10月末に50～59歳であった全国の中高年者世代の男女に対して、家族の状況、健康の状況、就業の状況などを継続的に調査し、高齢者対策などの厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第20回調査では、2005（平成17）年の第1回調査から協力が得られた14,980人について集計しており、調査対象者の年齢は、69～78歳となっています。

【調査結果のポイント】

1 世帯の状況

- ・第20回（69～78歳）調査での日頃から頼りにしている者は第11回（60～69歳）調査と比べて男女ともに「同居していない親族」で最も差が大きい（4頁 図2）

2 健康の状況

- ・第1回（50～59歳）調査から継続して健康維持のために心がけていることについて、健康状態が「よい」と思っている者では、男は「適度な運動をする」、女は「バランスを考え多様な食品をとる」が最も高い（6頁 図4）

3 就業の状況

- ・19年前（第1回（50～59歳）調査）に60歳以降の就業希望がある者で、現在（第20回（69～78歳）調査）仕事をしている理由は「健康を維持するため」が最も高い（8頁 図8）
- ・第20回（69～78歳）調査での仕事への満足感は第6回（55～64歳）調査と比べていずれの項目でも「満足＋やや満足」の割合が増加（9頁 図9）

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。